

特集:

「形成外科について」

形成外科 診療部長
菊地憲明 . . . 1

第10回市民公開講座

. . . 2~3

おきたま病院健康まつり
&救急フォーラム置賜

. . . 4

「形成外科について」

形成外科 診療部長 菊地憲明

週一回の診療にかわり、今年4月から山形大学医学部から公立置賜総合病院に赴任いたしました。まだまだ知名度の少ない診療科ですので形成外科の主な診療についてご紹介させていただきます。

最近の話題に保険による人工材料を使った乳房再建があります。当科でも施設基準認定を受け、その手術が可能です。これまでに乳がん手術を受けた方、今後、治療を行う方でご不明な点があれば、当科で説明をさせていただきます。

当科の得意分野には顔面があります。顔面の外傷(挫創、骨折)は口腔外科医とともに、また顔面神経麻痺は耳鼻咽喉科医とともに、機能と整容の両面からキズや変形を最小限に目立ちにくくなるように治療しています。一方、肩凝りや眼精疲労の原因となる年齢的な眼瞼下垂についても治療できます。

高齢化社会となり、昔は床ずれ、今は褥瘡と呼ばれる皮膚の問題も多くみられます。当科では患者さんの生活背景や活動性を考慮して治療にあたっております。

当院で出生されるお子さんの新生児検診を形成外科でも行っています。当科では外表異常(母斑、血管腫、耳介、四肢・体幹の異常など)について検診し、より早期からご家族に病態、成長による変化、治療法について説明し、核家族化、少子化が進む中、ご両親の不安の軽減に努めております。



人員の関係で重度の熱傷の治療は山形大学附属病院や県立中央病院にお願いしていますが、中程度の熱傷(小児、化学熱傷、電撃症)については診療しております。まずは、患部を流水で流して冷やしてから慌てず受診してください。特に小児の皮膚は大人より水分が多く、水は温めにくい代わりに冷めにくいいため、お子さんの熱傷ではご両親、ご家族がパニックになってしまうかもしれませんが、まずは初期治療をしっかりやることで重症化を防ぐことができます。

幅広い分野となりすべてをご紹介できませんが、お困りのことがあれば、ご遠慮なく相談いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

第 10 回市民公開講座「置賜の明日の医療を考える」が、「おきたま病院健康まつり 2018&救急フォーラム置賜 2018」と同時開催されました。救急医療の第一人者である今明秀氏をお招きし講演会が行われ、約 80 名の参加者がありました。講演風景および講演内容の一部をご紹介します。

日時:平成 30 年 10 月 20 日(土)13:30~15:00

場所:公立置賜総合病院 大研修室

「劇的救命」

講師 八戸市立市民病院病院長
(兼)臨床研修センター所長
今明秀氏



経歴

青森市出身の 59 歳

自治医科大学卒業後、へき地医療や川口市立医療センターで年間 500 件の重症外傷の診療等経験を積み、2004 年現在の八戸市立市民病院救命救急センターに一人所長で赴任される。昼夜問わずの救命業務にあたる一方、スタッフ教育に努められ、救急医、救急認定看護師など多数の人材を育成。八戸ドクターヘリ、ドクターカー運用開始し、2016 年には移動緊急手術室ドクターカー V3 を運行開始。2017 年より病院長に就任されている。



まずはプレゼンのすごさ

ドクターGや情熱大陸にも出演なさった（ギャラ安いと）経験のある今先生のトークはさすが一流。スライドに写真、動画、アニメを織り交ぜ一時も飽きさせないすご技。救急医療のみならず、プレゼンのスキルの高さにまずは驚かされる。市民公開講座という手前、一般の方の反応が気になっていたが、難しい話も絵入りで分かりやすく、反応も上々。「聞いてえがった。すごいね！」と絶賛!!

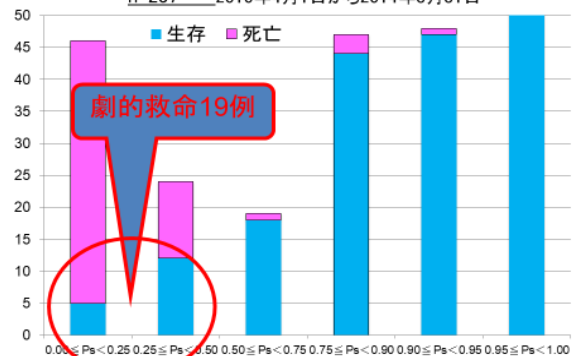
「劇的救命」って

救命医療では予測救命率が 50%以上でも死亡することがあり、防ぎえた死亡を最少にすることが重要である。

「劇的救命」とは、予測救命率が低い患者（本来は死亡する確率が高い重症外傷）を救命することをいう。八戸市立市民病院では、4 年間で 19 名の劇的救命実績があり、国内でも最先端の救命を行っている。

重症外傷の劇的救命 八戸市ISS≥15

n=237 2010年4月1日から2014年3月31日



予測救命率

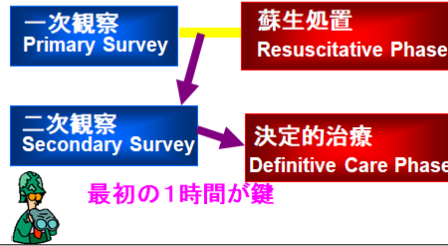
50%以上→

病院到着前からの救急

八戸市立市民病院では、より早く治療を開始するために発生現場に医師・看護師が出動する体制をとり、2009年からドクターヘリ、2010年からドクターカーの運用を開始した。



外傷治療の流れ



外傷手術の4つの重要項目

1. **出血**のコントロール
2. **損傷部位**の確認
3. **汚染**のコントロール
4. (可能であれば) 再建

早期根本治療

✓ 病院前での治療オーダー

- 脳卒中・循環器・外傷チーム発動
- 緊急大量輸血
- 手術室、アンギオ室準備
- PCPS/ECMOオーダー

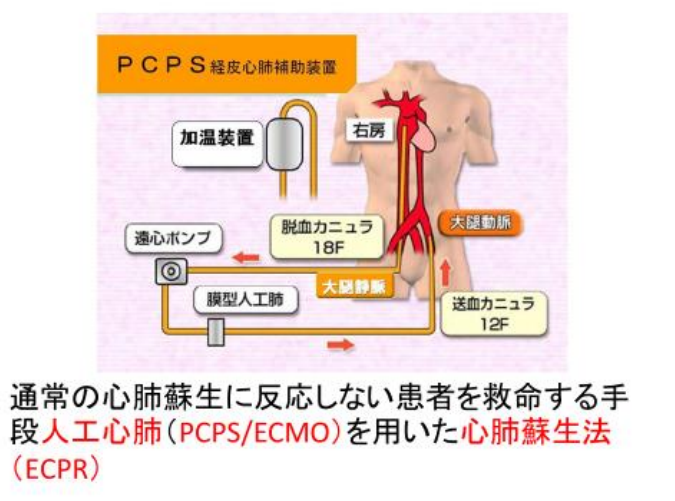
初期治療開始から病院での根本治療介入までの時間を短縮することに努め、重症症例は早期に現場を離脱し、特にドクターカーでは必要な処置は走行する救急車内で行うようにしている。また、ドクターカーとドクターヘリの両方を出動させるサンダーバード作戦では、機動性のあるドクターカーが早期に患者と接触し初期診療を行いながらランデブーポイントまで移動し、搬送手段としてドクターヘリを活用することにより搬送時間を短縮することもある。病院前から院内の専門医に待機してもらったり、脳卒中や外傷チームをアクチベーションしたり、緊急輸血のオーダーやECMOオーダーを行い、到着後に院内での根本治療へスムーズにつなげられるよう工夫をしている。

移動緊急手術室・ドクターカーV3

2016年からへき地で発生した心肺停止、重症外傷にPCPS装置を搭載したドクターカーV3を開発し、手術・処置を行っている。蘇生不能症例には人工心肺を現場で可動する手術を行い、劇的救命をなしている。これらを実践されているのは世界でパリと八戸だけ!!



心臓マッサージをしながら、テント内でPCPSカテーテルを挿入し、人工心肺を回しながら病院へ搬送



21世紀の最先端救急医療を提供し、日々前進しているお姿に感動した講演でした

公立置賜総合病院

〒992-0601
山形県東置賜郡川西町
大字西大塚 2000 番地

TEL :
0238-46-5000

予約センター
TEL :
0238-46-5700
FAX:
0238-46-5722

E-MAIL:
renkei@okitama-hp.or.jp

置賜広域病院企業団
公立置賜総合病院

病院理念
心かよう信頼と安心の病院

おきたま病院健康まつり 2018 & 救急フォーラム置賜 2018

平成 30 年 10 月 20 日（日）13:00~16:30 に上記開催された
模様をご紹介します。



健康まつりでは健康保健室として各種測定や相談、予防啓発コーナー、手洗いや調剤体験などがあり、大いに賑わいました。



メインステージでは、ヒップホップダンスや“ふうせんたけさん”によるバルーンアートパフォーマンス、心肺蘇生法・AED 体験が催されました。秋らしく芋煮のふるまいもありましたが、人気であったという間になくなりました。



屋外では、ドクターヘリがやってきました。また、はたらくクルマ大集合では救急車、消防車、パトカー、地震体験車など、様々な車に子ども達が体験乗車して賑わっていました。

あとがき

秋は地域でもいろいろなイベントがありますが、病院でも 11 月に開院 18 周年記念を迎えます。ほぼ成人の仲間入り。これまで地域に支えられ、また職員一同力を合わせ、急性期医療を提供してまいりました。深く感謝申し上げますと共に、今後とも様々な立場で病院を支えていただきますようお願いいたします。